

---

# 記憶 ~ 雨が降る刻 ~

夕焼け

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

記憶　～雨が降る刻～

### 【Nコード】

N0924Z

### 【作者名】

夕焼け

### 【あらすじ】

あたしは誰なのだろう。

あたしはなぜ生まれてきたのだろう。

少女の頭にはただ、疑問だけが渦巻いている。

あたしの名前は、何だろう。

雨だけが

答えを知っている。

## プロローグ（前書き）

夕焼けです。

知っている方も知らない方もよろしくお願いします。

## プロローグ

あたしは 何のために生れたのだろうか。

あたしは どうして生きているのだろうか。

雨が降る河原に座り込んで少女は考えた。

灰色でみすばらしいフードつきの羽織を羽織っている。

あたしは なぜ此処に居るのだろうか。

あたしは 誰なのだろうか。

少女の頭の中には疑問しかなかった。

雨がとどめなく少女の体を打ち付ける。

あたしの名前は。

何だろう。

雨に混じり一粒の涙が零れ落ちた。

道行く人々は気付かない。

少女の存在に。

あたしは どこで生まれたのだろうか。

あたしに家は 有るのだろうか。

一人の少女は泣き崩れた。

それでも誰も声をかけてくれない。

道行く人々は、少女の姿が見えないから。

何のためにあたしは存在しているのだろうか。

少女は静かに立ち上がり呟いた。

「あたしは誰なの？」

雨は

静かに降り注ぐ。

## プロローグ（後書き）

短いですね。

面白い！！と思っただ方は感想下さい！

待ってます！！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0924z/>

---

記憶 ~ 雨が降る刻 ~

2011年12月3日16時56分発行